

取組(業)のフォローアップ

項目、事項、内容	課題の対応	取組機関	市広開発建設部		道路地方気象台		十勝総合振興局		帯広市		音更町		士幌町	
			業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期
<b>1. ハード対策</b>														
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策														
堤防整備 河堤固形 ※北海道緊急治水対策プロジェクト	③	十勝総合振興局 市広開発建設部	引き続き、堤防整備、河堤固形を順次実施	～平成32年度				堤防整備、河堤固形、河野村伏岡を順次実施	～平成32年度					
■危機管理型ハード対策														
堤防天端の保護 堤防法尻の補修	③	十勝総合振興局 市広開発建設部	引き続き、天端保護や法尻補修等の施設整備を順次実施	～平成32年度				天端保護や法尻補修等の施設整備を順次実施	～平成32年度					
危機管理型水位計の設置	③	十勝総合振興局 市広開発建設部	今年度、60箇所の見直しに向けて準備中	～平成30年度				今年度16箇所設置に向け準備中	～平成32年度					
■避難行動、水防活動、排水活動に関する基盤等の整備														
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築	⑥⑧	十勝総合振興局 市広開発建設部 NPK	引き続き、「川の防災情報スマホ版」やホームページにおいて、水文情報やCCTV画像の公開を実施	平成28年度～ 順次実施				必要に応じて、中小河川における水位計の設置	平成29年度～					
洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	⑥	市広開発建設部 NPK	H30.5にすべての洪水予報時刻において配信を開始	平成29年度										
防災行政無線の改良、スピーカーの性能向上、防災ラジオ配布などの防災情報伝達基盤の整備	⑥⑬	10町村 十勝総合振興局						水防警報発表に関してFA以外の伝達方法を必要に応じて検討	平成28年度～					
樋門・樋管等の施設の確実な運用体制を確保するため、自動化を順次整備	⑨	十勝総合振興局 市広開発建設部	引き続き、優先的整備する施設について、順次整備を実施	～平成32年度					～平成32年度					
下流河川の安全に関する見直し、運用	⑥⑭	電源開発(株)												
<b>2. 持続可能な地域防災力向上を図るため、平時からの避難体制を強化する取組</b>														
■平時からの住民等への通知・教育・訓練に関する事項														
想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション(浸水予測)、家屋倒壊等危険想定区域の公表	⑦	十勝総合振興局 市広開発建設部	H29年度までに洪水予報河川及び水位周知河川において公表済み	平成28年度				順次、想定最大規模の浸水想定区域図を作成。公表 その他の河川について、洪水氾濫危険区域図を作成し、情報提供を行う	平成29年度～					
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知	⑦	17市町村 十勝総合振興局 市広開発建設部	引き続き、必要に応じて作成支援を実施	平成29年度～				必要に応じて市町村のハザードマップ等の作成支援を行う	平成29年度～					
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた、まるとまらハザードマップの整備と周知	⑦	17市町村 市広開発建設部	引き続き、必要に応じて整備支援を実施	平成29年度～					平成29年度～	H30.4に公表済み			現在ハザードマップ作成について協議中のため、完成次第住民への周知予定	平成28年度～ 順次実施
各構成機関が既に保有する浸水実績等に関する情報を共有し、市町村において住民等に周知	⑬⑭	8市町村 十勝総合振興局 市広開発建設部	引き続き、河川管理者が把握した浸水実績に関する情報を市町村と共有	平成29年度～				浸水実績に関する情報を、当該市町村へ共有するなどの支援を実施	平成29年度～				浸水実績を記載した資料を作成し、周知を図る	平成30年度～
避難勧告に留意した防災行動計画(タイムライン)について、避難判断基準を盛り込み、住民や水防団等を対象とした関係機関と連携した訓練の実施を通じ、精度向上を実施	⑬⑭⑮	17市町村 十勝総合振興局 道路地方気象台 市広開発建設部	引き続き、関係機関と連携し、実際の出水時における防災行動計画を踏まえた精度向上を実施	平成28年度～ 順次実施				避難勧告に留意した防災行動計画(タイムライン)について、市町村と連携して作成する。	平成28年度～ 順次実施				避難訓練の実施 避難勧告に留意した防災行動計画(タイムライン)の精度向上に参画	平成28年度～ 順次実施
各構成機関の出水時等の情報共有体制を確保するため、情報伝達訓練を実施	⑬⑭⑮⑯	19市町村、十勝総合振興局 道路地方気象台 警察、自衛隊、消防、NPK、JRF、北海道電力(株)、電源開発(株)	5月11日に池田町、十勝総合振興局、道路地方気象台と連携した情報伝達訓練を実施	平成30年度～ 順次実施	5月11日、市広開発建設部と連携し 洪水予報伝達訓練を実施	平成30年度～ 順次実施	5月11日に池田町、市広開発建設部、道路地方気象台と連携した情報伝達訓練を実施	平成30年度～ 順次実施	出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	平成30年度～ 順次実施			出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	平成30年度～ 順次実施
十勝川等の洪水の特徴を踏まえ、啓発資料の作成と防災教育の実施	⑬	16市町村 十勝総合振興局 道路地方気象台 市広開発建設部	今年度、音更町の小学校をモデルとして、防災教育の支援を実施し、教育教材等を共有予定	平成28年度～ 順次実施				関係機関と協力して対応する	平成28年度～ 順次実施				児童、生徒等を対象とした防災講座を実施	平成29年度～ 順次実施
地域住民と協働した地域防災力向上の取組を推進	②	18市町村、十勝総合振興局 道路地方気象台 市広開発建設部 警察、消防	引き続き、河川協力団体等と連携し、防災等への防災教育や避難訓練に関する情報提供システムの周知を実施	平成28年度～ 順次実施				河川協力団体等と連携し、防災等への防災教育や避難訓練に関する情報提供システムの周知を引き続き実施	平成28年度～ 順次実施				市民を対象とした防災講座やセミナーの開催	平成28年度～ 順次実施
関係機関の職員及び住民を対象とした水防に関する講習会の開催	⑬⑭	18市町村、十勝総合振興局 道路地方気象台 市広開発建設部 消防、電源開発(株)	引き続き、関係機関と連携し、講習会を実施	平成28年度～ 順次実施				市民等を対象とした防災講座やセミナーの開催	平成28年度～ 順次実施				住民と連携した防災訓練等の実施	平成29年度～ 順次実施
住民の水防意識向上を図るため、広報誌や各種関係のホームページを通じて十勝川での洪水の歴史や防災意識を周知する広報の充実	⑬⑭	16市町村 道路地方気象台 市広開発建設部 警察 北海道電力(株) 電源開発(株)	引き続き、十勝川での洪水の歴史や出水概要等について、HP等を活用し、情報提供を実施	平成28年度～ 順次実施				HP等を活用した情報提供により広報の充実を図る	平成28年度～ 順次実施				広報紙、HP等を通じた広報の実施	平成28年度～ 順次実施
利水ダムの状況をリアルタイムで共有及びダムからの様々な取組でも広報に対応できるように洪水予報システムの改良を実施し、関係機関へ周知	⑮	十勝総合振興局 市広開発建設部 北海道電力(株) 電源開発(株)	引き続き、警戒体制に入った場合には、下流関係へ連絡を実施	引き続き 実施				警戒体制に入った場合、下流関係へ連絡	引き続き 実施					
				平成29年度～										
			今年度、ダムからの放水等も含まれた洪水予報が可能になるようにシステムを改良予定	平成29年度										
			川の防災情報において、利水ダム(電源開発)の状況をリアルタイムで提供	平成28年度～ 平成29年度									ホームページ等を活用した情報の周知を充実させていく	平成28年度～ 順次実施

取組(案)のフォローアップ

項目、事項、内容	採録の対応	取組機関	新橋町		清水町		芽室町		中札内村		泡田町		霧別町	
			業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期
<b>1. ハザード対策</b>														
■洪水災害を未然に防ぐ対策														
堤防整備 河堤固形 ※北海道緊急治水対策プロジェクト	③	十勝総合振興局 帯広開発建設部												
■危機管理型ハード対策														
堤防天端の保護 堤防法尻の補修	③	十勝総合振興局 帯広開発建設部												
危機管理型水位計の設置	③	十勝総合振興局 帯広開発建設部												
■避難行動、水防活動、排水活動に関する基盤等の整備														
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築	⑥⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部 NPK												
洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	⑥	帯広開発建設部 NPK												
防災行政無線の改良、スピーカーの性能向上、防災ラジオ配付などの防災情報伝達基盤の整備	⑥⑬	10町村 十勝総合振興局	広報車スピーカーの性能向上	平成28年度～	防災行政無線のデジタル化に向け、平成29年度基本設計・平成30年度実施設計。	平成29年度～ 平成31年度	平成29年度に避難電子デジタル防災行政無線の設置工事を開始 洪水想定区域などを対象に約3,300台を導入予定。	平成28年度～	防災行政無線のアナログをデジタル化へ実施(H30.3月)	～平成29年度	～検討中	平成28年度～	霧別地区における防災無線の導入を検討中。	平成28年度～
樋門、樋管等の施設の確実な運用体制を確保するため、自動化を順次整備	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部												
下流河川の安全に資するための、操作規則の見直し、運用	⑥⑭	電源開発(株)												
<b>2. 持続可能な地域防災力向上を図るため、平時からの避難体制を強化する取組</b>														
■平時からの住民等への通知・教育・訓練に関する事項														
想定最大規模も含めた洪水想定区域図、浸水シミュレーション(浸水ナビ)、家屋倒壊等危険想定区域の公表	⑦	十勝総合振興局 帯広開発建設部												
想定最大規模の洪水に係る洪水想定区域図に基づき、ハザードマップを作成、平成29年度中に住民への周知を行った。	⑦	17市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	特にと取組なし	平成29年度～	想定最大規模の洪水に係る洪水想定区域図の公表により、平成29年度に洪水対策マップの作成と周知を行った。	平成29年度～	H30年度に作成・周知する予定	平成29年度～	想定最大規模の洪水に係る洪水想定区域図を基に洪水ハザードマップを作成と周知(H30.4)	平成29年度	H30.8に配布予定	平成30年度	平成29年12月にハザードマップを更新し、町内全戸配布による周知を実施。	平成28年度～
想定最大規模の洪水に係る洪水想定区域図に基づいたまことまちハザードマップの整備と周知	⑦	17市町村 帯広開発建設部	特にと取組なし	平成29年度～	災害個別避難場所整備を平成30年度に設置。	平成29年度～	必要に応じて整備と作成について検討する	平成28年度～	同上	平成29年度	～検討中	平成29年度～	平成30年度以降より、まことまちとハザードマップの整備及び周知の実施を検討中。	平成30年度～ 順次実施
各種成員が既に保有する洪水実績等に関する情報を共有し、市町村において住民等に周知	⑬⑭	8市町 十勝総合振興局 帯広開発建設部	浸水実績を記載した災害記録誌を作成予定	平成30年度～	過去に被害を受けた河川を、防災マップに表示し、平成29年度に周知。	平成30年度～	訓練などを通じて、住民への周知を実施	平成30年度～						
避難勧告に旨じた防災行動計画(タイムライン)について、避難訓練基準を盛り込み、住民や水防団等を有めた関係機関と連携した訓練の実施を通じ、精度向上を実施	⑬⑭⑮	17市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部	平成29年度中に住民参加型の新橋町総合防災訓練を実施。	平成29年度～ 順次実施	道管理河川における水害対応タイムラインを、平成30年度作成予定。	平成28年度～ 順次実施	訓練時にタイムラインを用いながら実施し、関係機関と連携した訓練を通して、精度向上に向けて改善していく	平成29年度～ 順次実施	10月に実施する北海道防災訓練に参加し、避難訓練を実施する予定	平成29年度～ 順次実施	～避難訓練の実施を検討中	平成28年度～ 順次実施	H平成30年9月及び10月に地域防災訓練の実施を予定。 平成30年度以降より、避難勧告に旨じた防災行動計画(タイムライン)の策定及び精度向上の実施を検討中。	平成28年度～ 順次実施
各種成員の出水時等の情報共有体制を確保するための、情報伝達訓練を実施	⑬⑭⑮⑯⑰⑱	19市町村、十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防、NHK、JRF、北海道電力(株)、電源開発(株)	特にと取組なし	平成30年度～ 順次実施	関係機関(警察・自衛隊・消防)実務担当者会議の開催。	平成30年度～ 順次実施	関係機関と連携した情報伝達訓練を実施できるよう検討していく	平成30年度～ 順次実施	社内ダム管理事務所の情報伝達訓練に参加	平成30年度～ 順次実施	～訓練の実施を検討中	平成30年度～ 順次実施	平成30年度以降より、関係機関と連携した情報伝達訓練の実施を検討中。	平成30年度～ 順次実施
十勝川等の洪水の特徴を踏まえた、啓発資料の作成と防災教育の実施	⑬⑱	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部	特にと取組なし	平成28年度～ 順次実施	「ハザードマップ」が「防災」とは別の観点から、洪水想定区域の解説と洪水時の緊急避難場所変更をチラシで周知。	平成28年度～ 順次実施	H「ハザードマップ」が「防災」とは別の観点から、洪水想定区域の解説と洪水時の緊急避難場所変更をチラシで周知。	平成30～ (関係団体と協議必要)	～自主防災組織の研修会において啓発を実施(町内管内、市町自前会合)	平成28年度～ 順次実施		平成28年度～ 順次実施	平成30年度以降より、町民を対象にした出前講座の場での周知を実施	平成28年度～ 順次実施
地域住民と協働した地域防災力向上の取組を推進	⑲	18市町村、十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、消防	平成29年度中に住民参加型の地域防災セミナーを開催	平成28年度～ 順次実施	～自主防災組織の設立や活動を支援	平成29年度～ 順次実施	～自主防災組織の設立や活動を支援	平成29年度～ 順次実施		平成28年度～ 順次実施	～自主防災組織主催の研修4件、避難訓練1件、備品購入1件について対応を実施	平成28年度～ 順次実施	前年度に引き続き、自主防災組織の設立(組織化)に向けた支援活動等を実施していく。	平成28年度～ 順次実施
関係機関の職員及び住民を対象とした水防に関する講習会の開催	⑬⑳	18市町村、十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 消防、電源開発(株)	住民参加型のワークショップを開催	平成28年度～ 順次実施	関係機関が行う水防講習会に参加	平成28年度～ 順次実施	町の広報誌や出前講座、地域づくり研修会を通して、町民の防災・減災に対する意識の向上を図る	平成28年度～ 順次実施		平成28年度～ 順次実施	～検討中	平成28年度～ 順次実施	前年度に引き続き、関係機関が開催する水防講習会に参加していく予定	平成28年度～ 順次実施
住民の水防意識再構築のため、広報誌と各機関のホームページを連携し十勝川での洪水の歴史や危険性を周知する広報の充実	⑬⑳	16市町村 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 北海道電力(株) 電源開発(株)	29年度中に水害に関する情報を住民に広報等で提供	平成28年度～ 順次実施	～広報誌による大雨洪水に対する防災を特集し、周知。	平成28年度～ 順次実施	町の広報誌にて、災害に関する特集を掲載 町ホームページにて、防災に関する情報や河川の水位状況等の周知を行う	平成28年度～ 順次実施		平成28年度～ 順次実施	～検討中	平成28年度～ 順次実施	平成30年度以降より、ホームページや広報誌等を通じて広報の充実を図ることを検討中。	平成28年度～ 順次実施
料水ダムの状況がリアルタイムで共有され、1ダムの様々な取組でも連携して対応できるよ洪水予報システムの改善を実施し、関係機関へ周知	⑳	十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株) 電源開発(株)												

項目、事項、内容	採録の対号	取組機関	豊田町		本別町		濃穂町		上土俵町		鹿追町		更別村	
			業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	取組内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期
<b>1. ハード対策</b>														
■洪水災害を未然に防ぐ対策														
堤防整備 河堤固め ※北海道緊急治水対策プロジェクト	③	十勝総合振興局 帯広開発建設部	-											
■危機管理型ハード対策														
堤防天端の保護 堤防法尻の補強	③	十勝総合振興局 帯広開発建設部	-											
危機管理型水位計の設置	⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部	-											
■避難行動、水防活動、排水活動に関する基礎等の整備														
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築	⑥⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部 NHK	-											
洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	⑥	帯広開発建設部 NHK	-											
防災行政無線の改良、スピーカーの性能向上、防災ラジオ配付などの防災情報伝達基礎の整備	⑥⑬	10町村 十勝総合振興局	-											
種門、橋管等の施設の確実な運用体制を確保するため、自動化を順次整備	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部	-											
下流河川の安全に資するための、操作規程の見直し、運用	⑤⑧	電源開発(株)	-											
2. 持続可能な地域防災力向上を図るため、平時からの避難体制を強化する取組														
■平時からの住民等への認知・教育・訓練に関する事項														
想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション(浸水ナビ)、家屋倒壊等危険想定区域の公表	⑦	十勝総合振興局 帯広開発建設部	-											
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知	⑦	17市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	平成29年度に豊後町総合防災ハンドブックを作成し平成30年5月に町内世帯に配布	平成28年度～	・想定最大規模を取り入れたハザードマップを作成する	平成30年度～	ハザードマップの作成(30年度)	平成29年度～	ハザードマップの必要性を検討する	平成30年度～	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で、作成の必要性を検討する	平成30年度～	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で、作成の必要性を検討する	平成29年度～ 順次実施
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまごちまごハザードマップの整備と周知	⑦	17市町村 帯広開発建設部	整備を検討する。	平成29年度～	整備の必要性を検討する	平成30年度～	整備の必要性を検討する	平成29年度～	まごちまごハザードマップの必要性を検討する。	平成30年度～	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で、整備の必要性を検討する	平成30年度～	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で、作成の必要性を検討する	平成29年度～ 順次実施
各構成員が既に保有する浸水実績等に関する情報を共有し、市町村において住民等に周知	⑬⑭	8市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・浸水実績を印刷した資料を作成し周知を図る	平成30年度～				平成30年度～						
避難勧告に着目した防災行動計画(タイムライン)について、避難判断基準を盛り込み、住民や水防団等を有めた関係機関と連携した訓練の実施を推進し、精度向上を実施	④⑤⑬	17市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・関係機関との情報伝達訓練の実施 ・避難勧告に着目した防災行動計画の精度向上に参画	平成28年度～ 順次実施	・避難訓練等の実施	平成28年度～ 順次実施	・避難訓練等の実施	平成28年度～ 順次実施	・避難訓練等の実施 ・避難勧告に着目した防災行動計画(タイムライン)の精度向上に参画	平成30年度～ 順次実施	・避難訓練等の実施 ・避難勧告に着目した防災行動計画(タイムライン)の精度向上に参画	平成30年度～ 順次実施	・避難訓練等の実施 ・避難勧告に着目した防災行動計画(タイムライン)の精度向上に参画	平成29年度～ 順次実施
各構成員の出水時等の情報共有体制を確実なものとするため、情報伝達訓練を実施	⑤⑩⑪⑫⑬⑭⑮	19市町村、十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防、NHK、JRF、北海道電力(株)、電源開発(株)	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	平成30年度～ 順次実施	・関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	平成30年度～ 順次実施	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	平成30年度～ 順次実施	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	平成30年度～ 順次実施	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	平成30年度～ 順次実施	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	平成30年度～ 順次実施
十勝川等の洪水の特徴を踏まえた、啓発資料の作成と防災教育の実施	⑬⑰	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部	・自主防災組織や小学生等を対象とした防災教育を取り組んでいく	平成29年度～ 検討	・効果的な周知方法の検討	平成30年度～		平成28年度～ 順次実施	・出前講座等により防災教育を実施	平成30年度～ 順次実施	・関係機関と連携し、実際にに向けて検討を進める	平成30年度～ 順次実施	・専門の講師を招き、浸水水の対応について防災教育を実施	平成29年度～ 順次実施
地域住民と協働した地域防災力向上の取組を推進	②	18市町村、十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、消防	・地域自主防災組織の育成・強化	平成28年度～ 順次実施	・自主防災組織の設立や活動を支援	平成28年度～ 順次実施	・自主防災組織の設立に向けた支援を行う	平成28年度～ 順次実施	・地域自主防災組織の育成・強化	平成30年度～ 順次実施	・地域自主防災組織の育成・強化	平成30年度～ 順次実施	・住民と連携した防災訓練の実施に向けた取組を推進する	平成29年度～ 順次実施
関係機関の職員及び住民を対象とした水防に関する講習会の開催	⑬⑰	18市町村、十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 消防、電源開発(株)	・関係機関が行う水防講習会に参加	平成28年度～ 順次実施	・市民を対象とした防災研修会の開催	平成28年度～ 順次実施	・市民を対象とした防災講習会の開催	平成28年度～ 順次実施	・関係機関が行う水防講習会に参加	平成30年度～ 順次実施	・関係機関が行う水防講習会に参加	平成30年度～ 順次実施	・関係機関が行う水防講習会に参加	平成29年度～ 順次実施
住民の水防意識向上機器のため、広報誌や各種関係のホームページを通じて十勝川での洪水の歴史や急流による浸水の危険性を周知する広報の充実	⑬⑰	16市町村 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 北海道電力(株) 電源開発(株)	・ホームページ等により広報の充実を図る	平成28年度～ 順次実施	・周知方法の検討	平成30年度～	・広報誌を活用し水害等の情報提供を行う	平成28年度～ 順次実施	・広報誌を活用し水害等の情報提供をしていく。	平成30年度～ 順次実施	・中戸や広報誌を活用し水害等の情報提供をしていく。	平成30年度～ 順次実施	・中戸や広報誌を活用し水害等の情報提供をしていく。	平成30年度～ 順次実施
利水ダムの状況をリアルタイムで共有し、15ダムからの様々な取組でも監視に対応できるように洪水予報システムの改善を実施し、関係機関へ周知	⑤	十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株) 電源開発(株)	-											

取組(案)のフォローアップ

項目、事項、内容	採録の 対応	取組機関	大樽町		広尾町		足寄町		陸奥町		北海道警察釧路方面本部・各警察署		陸上自衛隊第5旅団		
			業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	
<b>1. ハード対策</b>															
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策															
堤防整備 河堤固形 ※北海道緊急治水対策プロジェクト	③	十勝総合振興局 帯広開発建設部													
■危機管理型ハード対策															
堤防天端の保護 堤防法尻の補強	③	十勝総合振興局 帯広開発建設部													
危機管理型水位計の設置	⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部													
■避難行動、水防活動、排水活動に関する基盤等の整備															
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築	⑥⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部 NHK													
洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	⑥	帯広開発建設部 NHK													
防災行政無線の改良、スピーカーの性能向上、防災ラジオ配付などの防災情報伝達基盤の整備	⑥⑬	10町村 十勝総合振興局	防災行政無線のデジタル化	～平成32年度			H30年度～H31年度 防災行政無線デジタル化 戸別受信機全戸配布	平成30年度	防災行政無線のデジタル化 (今年度屋外子局整備)	継続実施					
樋門・樋管等の施設の確実な運用体制を確保するため、自動化を順次整備	⑨	十勝総合振興局 帯広開発建設部													
下流河川の安全に資するための、操作規程の見直し・運用	⑥⑧	電源開発(株)													
<b>2. 持続可能な地域防災力向上を図るため、平時からの避難体制を強化する取組</b>															
■平時からの住民等への通知・教育・訓練に関する事項															
想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション(浸水ナビ)、家屋倒壊等危険想定区域の公表	⑦	十勝総合振興局 帯広開発建設部													
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知	⑦	17市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部					H30年度利別川の想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で作成と周知の予定	平成30年度		平成30年度～					
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまことまちごとハザードマップの整備と周知	⑦	17市町村 帯広開発建設部					H30年度利別川の想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で整備と周知の予定	平成30年度		平成30年度～					
各構成員が既に保有する浸水実績等に關する情報を共有し、市町村において住民等に周知	⑬⑭	8市町 十勝総合振興局 帯広開発建設部													
避難勧告に留意した防災行動計画(タイムライン)について、避難判断基準を盛り込み、住民や水防団等を育めた関係機関と連携した訓練の実施を通じ、精度向上を実施	④⑤⑬	17市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察					避難訓練等の実施 避難勧告に留意した防災行動計画(タイムライン)の精度向上に参画	平成30年度～ 順次実施		平成30年度～ 順次実施		関係機関と連携した訓練へ参加する 避難勧告に留意した防災行動計画(タイムライン)の精度向上に参画する。	継続実施		
各構成員の出水時等の情報共有体制を確実なものとするため、情報伝達訓練を実施	⑤⑩⑪⑫⑬⑭⑮	19市町村、十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防、NHK、JRF、北海道電力(株)、電源開発(株)	出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	平成30年度～ 順次実施		出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	平成30年度～ 順次実施	出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	平成30年度～ 順次実施	北海道との災害連絡訓練に参加 (5月24日)	平成30年度～ 順次実施	出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	平成30年度～ 順次実施	関係機関が主催する出水を想定した情報伝達訓練に参加し、関係機関と連携強化を図る。	平成30年度～ 順次実施
十勝川等の洪水の特徴を踏まえた、啓発資料の作成と防災教育の実施	⑬⑰	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部													
地域住民と協働した地域防災力向上の取組を推進	②	18市町村、十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、消防	自主防災組織の設立・支援、設立に参画しない地域への支援	継続実施			自主防災組織の設立や活動支援を行う	平成29年度～ 順次実施				関係機関と連携した訓練の実施、参加する。	継続実施		
関係機関の職員及び住民を対象とした水防に関する講習会の開催	⑬⑰	18市町村、十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 消防、電源開発(株)	関係機関が行う水防講習会に参加	随時			関係機関が行う水防講習会に参加	平成30年度～ 順次実施							
住民の水防意識再構築のため、広報誌や各種誌のホームページを通じ十勝川での洪水の歴史や急流も周知する広報の充実	⑬⑰	16市町村 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 北海道電力(株) 電源開発(株)					HP等を活用した情報提供により広報の充実を図る	平成29年度～ 順次実施							
利水ダムの状況をリアルタイムで共有し、ダムからの様々な取組でも広報に対応できるように洪水予報システムの改善を実施し、関係機関へ周知	⑤	十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株) 電源開発(株)													

取組(案)のフォローアップ

項目、事項、内容	課題の対応	取組機関	とから広域消防局		日本放送協会帯広放送局		北海道旅客鉄道株式会社釧路支社		北海道電力株式会社新得水力センター		電源開発株式会社東日本支店 上士幌電力所	
			業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期
<b>1. ハード対策</b>												
■ 洪水氾濫を未然に防ぐ対策												
堤防整備 防灌堤防 ※北海道緊急治水対策プロジェクト	⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部										
■ 危機管理型ハード対策												
堤防天端の保護 堤防法原の補強	⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部										
危機管理型水位計の設置	⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部										
■ 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備												
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築	⑥⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部 NKK			・Lアラートによる情報提供を受けて、ホームページ(地域放送局)およびニュース-防災アプリにて提供							
洪水予報等をブッシュ型で情報発信するためのシステム構築	⑥	帯広開発建設部 NKK			・Lアラートによる情報提供を受けて、ホームページ(地域放送局)およびニュース-防災アプリにて提供							
防災行政無線の改良、スピーカーの性能向上、防災ラジオ配付などの防災情報伝達基盤の整備	⑥⑪	10町村 十勝総合振興局										
備門、樋管等の施設の健全な運用体制を確保するため、自動化を順次整備	⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部										
下流河川の安全に資するための、操作規程の見直し、運用	⑨⑬	電源開発(株)										平成29年度に策定した種平ダム暫定運用を実施するとともに検証を行う。
<b>2. 持続可能な地域防災力向上を図るため、平常時からの避難体制を強化する取組</b>												
<b>■ 平日常からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項</b>												
想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション(浸水ナビ)、家屋倒壊等危険想定区域の公表	⑦	十勝総合振興局 帯広開発建設部										
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知	⑦	17市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部										
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまことまちごとハザードマップの整備と周知	⑦	17市町村 帯広開発建設部										
各構成員が既に保有する浸水実績等に関する情報を共有し、市町村において住民等に周知	①③	8市町 十勝総合振興局 帯広開発建設部										
避難勧告に留意した防災行動計画(タイムライン)について、避難判断基準を盛り込み、住民や水防団等をきめた関係機関と連携した訓練の実施を通じ、精進向上を実施	④⑧⑨	17市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察										
各構成員の出水時等の情報共有体制を確実なものとするため、情報伝達訓練を実施	④⑨⑪⑫⑬⑭⑮⑯	19市町村、十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防、NKK JR、北海道電力(株)、電源開発(株)	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	平成30年度～ 順次実施	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	平成30年度～ 順次実施	・出水を想定し、関係機関と連携した情報伝達訓練を実施	平成30年度～ 順次実施	・国交省主催の洪水対策演習に合わせ情報伝達訓練を実施する。	平成30年度～ 順次実施	・国交省主催の洪水対策演習に合わせて情報伝達訓練を実施する。 (平成30年5月11日実施)	平成30年度～ 順次実施
十勝川等の洪水の特徴を踏まえた、啓発資料の作成と防災教育の実施	①③	16市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部										
地域住民と協働した地域防災力向上の取組を推進	②	18市町村、十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察、消防	・市町村主催の防災訓練への参加協力									
関係機関の職員及び住民を対象とした水防に関する講習会の開催	①③	18市町村、十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 消防、電源開発(株)	・関係機関主催の水防技術講習会への参加									
住民の水防災意識向上構築のため、広報紙や各機関のホームページを通じて十勝川での洪水の歴史や恐ろしさを周知する広報の充実	①③	16市町村 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 北海道電力(株) 電源開発(株)										今年度4月の新報町広報紙に当該および電源開発との連名で水難事故防止の掲載を実施。今後は7月に同広報紙に水難事故防止の掲載と、小中学校に不資料の配布を予定
利水ダムの状況をリアルタイムで共有及びダムからの様々な放流量でも臨機に対応できるように洪水予測システムの改良を実施し、関係機関へ周知	⑧	十勝総合振興局 帯広開発建設部 北海道電力(株) 電源開発(株)										随時実施

取組(業)のフォローアップ

項目、事項、内容	課題の対応	取組機関	市広開発建設部		道路地方気象台		十勝総合振興局		帯広市		音更町		土樽町	
			業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期
3. 人知覚量も大きく、自然的な避難行動も緊急時の防犯情報を注する取組														
●情報伝達、避難計画に関する事項														
洪水時における河川管理者からの情報提供(ホトラインの情報)	⑧⑩⑪	十勝総合振興局 市広開発建設部	引き続き、ホトラインを活用した情報提供を実施	引き続き実施			沼川町村等と河川管理者において、ホトラインを構築	平成30年度～						
越水等の切迫度が富農や住民等に伝わる洪水予報伝文への改良を行う	⑩	道路地方気象台 市広開発建設部	洪水予報文の改良を実施済み	平成28年度	洪水予報文の改良実施済み	平成28年度								
倉庫型洪水水位計による危険箇所における水位情報の提供	⑧⑩⑪⑫	十勝総合振興局 市広開発建設部	今年度、60箇所の設置に向けて準備中	平成30年度～			今年度16箇所設置に向け準備中	平成30年度～						
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支えるため、多様な手法を用いたリアルタイム情報の提供	⑥	7市町村 市広開発建設部 NHK	引き続き、「川の防災情報スマホ版」やホームページにおいて、水文情報やCCTV画像の公開を実施	平成28年度～ 順次実施					フェイスブック、緊急速報メール、広報車を活用した情報提供 防災協定を締結している消防団や消防団を適した災害時の情報提供	平成28年度～ 順次実施	H24中広報車を活用した情報提供 防災協定を締結している消防団や消防団を適した災害時の情報提供	順次実施	今後フェイスブックや緊急速報メールを活用した情報提供を実施	引き続き実施
洪水予報、避難勧告等をプッシュ型で情報発信	⑥	17市町村 市広開発建設部 NHK	H30.5.1すべての洪水予報毎河川において洪水予報の配信を開始	平成28年度～ 平成30年度					避難情報を緊急速報メールにて配信	引き続き実施	避難情報を緊急速報メールにて配信	引き続き実施	今後緊急速報メールを活用した情報提供を実施	引き続き実施
市町村水防計画及び避難勧告等の判断・伝達計画の作成	⑤⑥⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯	19市町村 十勝総合振興局 道路地方気象台 市広開発建設部 警察 消防	引き続き、各市町村が行う水防計画及び避難勧告等の判断・伝達計画作成や見直しについて、必要に応じて支援を実施	平成28年度～		平成28年度～	各市町村が行う水防計画及び避難勧告等の判断・伝達計画作成や見直しについて、必要に応じて支援を実施	平成28年度～	水防計画について必要な見直しを行う 避難勧告等の判断・伝達マニュアル(水害編)の作成	平成28年度以降	水防計画について必要な見直しを行う 避難勧告等の判断・伝達マニュアル(水害編)の作成	平成28年度以降	平成30年度(水防計画の見直しを実施し、完成予定) 避難勧告等の判断・伝達計画(水害編)の作成予定	平成28年度～ 順次実施
気象情報発時時の「危険度」や「警戒級の現象」の表示の改善	⑥	道路地方気象台 電源開発(株)			平成29年5月から警戒級の現象に合わせた危険度及び危険度を合わせた時系列を提供している。 平成29年7月から大雨警戒(浸水害)の危険度分布及び洪水警戒の危険度分布を提供している。	平成29年度～ 順次実施								
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し	②④	18市町村 十勝総合振興局 市広開発建設部	引き続き、必要に応じて支援を実施	平成28年度～			必要に応じて支援を実施	平成29年度～	H30.4に公表済み	平成29年度～ 順次実施	H30.4に公表済み	平成29年度～ 順次実施	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された後、作成の必要性について検討	平成29年度～ 順次実施
避難行動要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難場所等の確保、訓練等に関する取組を促進	②	17市町村、十勝総合振興局 道路地方気象台 市広開発建設部 警察	引き続き、必要に応じて支援を実施し、関係機関と連携し、避難確保計画の作成を促進させるための講習会を実施予定	平成28年度～	市広開発建設部、十勝総合振興局、市広開発建設部、道路地方気象台、警察、消防、電源開発(株)との連携を実施	平成28年度～	必要に応じて支援を実施	平成29年度～	取組を促進	平成28年度～ 順次実施	各施設へ作成に向けて呼びかけを実施	平成28年度～ 順次実施	要配慮者施設における訓練の実施を検討	平成28年度～ 順次実施
円滑な避難・避難の復旧のため、道路管理者との連携	⑤⑥⑩⑪	18市町村、十勝総合振興局 市広開発建設部 警察、消防、電源開発(株)	引き続き、通行止め情報等の入手のため、道路管理者との連携を促進	平成28年度～ 順次実施			通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図る	平成28年度～ 順次実施	通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図る	平成28年度～ 順次実施	通行止め情報などの入手のため道路管理者と連携を図る	平成28年度～ 順次実施	今後道路管理者との連携を促進し、共有を行っていく	平成28年度～ 順次実施
4. 長期かつ多岐にわたる取組による社会経済被害を軽減するための、関係団体の取組														
●水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項														
「新たな重要水防箇所指定基準」に基づき、毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防マップの高い箇所共同点検を実施	⑨	18市町村 十勝総合振興局 市広開発建設部	重要水防箇所の共同点検を実施 浸漬状況等を踏まえて、重要水防箇所の見直しを実施	引き続き 定期的実施			共同点検を実施する 重要水防箇所の見直しを実施する	引き続き 定期的実施	共同点検に参加	引き続き 定期的実施	共同点検に参加する	引き続き 定期的実施	共同点検が実施される際に参加	引き続き 定期的実施
迅速な水防活動を支援するため、災害事例等の検証を行い、計画的な水防資機材の充実を図るとともに、各機関で情報を共有し出し出し等が円滑に実施できるよう検討を実施	⑩	18市町村 十勝総合振興局 市広開発建設部 警察、自衛隊、消防	引き続き、必要な水防資機材の量・相場を検討し、整備を図る	平成28年度～ 順次実施	引き続き、水防資機材の確保を図る	平成28年度～ 順次実施	引き続き、水防資機材の充実を図る	平成28年度～ 順次実施	水防資機材の充実を図る	平成28年度～ 順次実施	水防資機材の充実を図る	平成28年度～ 順次実施	水防資機材の充実を検討	平成28年度～ 順次実施
関係機関が連携した水防訓練を継続実施	⑩	19市町村 十勝総合振興局 市広開発建設部 警察、自衛隊、消防	引き続き、関係機関と連携し、水防訓練を実施	引き続き 定期的実施	引き続き 定期的実施	引き続き 定期的実施	水防訓練に参加する	引き続き 定期的実施	水防訓練に参加	引き続き 定期的実施	水防訓練に参加する	引き続き 定期的実施	今後水防訓練への参加行っていく	引き続き 定期的実施
水防団、拠点、拠点施設等への連絡体制の再確認と情報伝達訓練の実施	⑥⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	19市町村、十勝総合振興局 市広開発建設部 警察、自衛隊、消防、NHK、JR、北海道電力(株)、電源開発(株)	5月11日に池田町、十勝総合振興局、道路地方気象台と連携した情報伝達訓練を実施	引き続き 定期的実施			河川被害等の情報共有の方法について検討を行う 情報伝達訓練に参加する	平成28年度～ 順次実施	情報伝達訓練に参加	平成28年度～ 順次実施	連絡体制の構築、それに基づき伝達訓練を実施	平成28年度～ 順次実施	連絡体制を構築し、伝達訓練を実施していく	平成28年度～ 順次実施
市町村の広報誌やホームページを活用し、水防団員の募集を図るとともに、水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進	⑩	18市町村							消防団(水防団)への加入について、ポスター等による広報を実施	平成28年度～ 順次実施	H24や広報誌での募集を検討する	平成28年度～ 順次実施	ホームページや広報誌での募集を行っていく	平成28年度～ 順次実施
自主防災組織の育成	②	18市町村 市広開発建設部 北海道電力(株)	引き続き、必要に応じて支援を実施	平成28年度～ 順次実施			防災講座等を実施し、自主防災組織育成に向けた支援を実施	平成28年度～ 順次実施	育成のための方策を検討する	平成28年度～ 順次実施	防災説明会や組織づくりに向けた説明会を実施し、組織化を図っている。	平成28年度～ 順次実施	防災説明会や組織づくりに向けた説明会を実施し、組織化を図っている。	平成28年度～ 順次実施
被災発生時における、関係機関が発信する被害情報等の共有体制の構築と効果的な救助活動の実施	⑩	18市町村 十勝総合振興局 市広開発建設部 警察、自衛隊、消防	被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施	平成30年度～			被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施	平成30年度～	被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施	平成30年度～	被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施	平成30年度～	被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施	平成30年度～
●洪水の治水、施設運用等に関する取組														
訓練を通じ、排水ポンプ等の災害時の出動要請及び自衛隊災害派遣までか災害発生に係る関係機関との連携方法について検討	⑨	18市町村 十勝総合振興局 市広開発建設部 消防	引き続き、協議会等の場において、実地での出動要請の調整方法について検討 引き続き、災害対策用機械の操作訓練を実施	平成28年度～ 順次実施			市町村からの要請に応じて、自衛隊災害派遣要請等の調整の実施や洪水に係る活動内容及び施設等の調整	平成28年度～ 順次実施	関係機関と共同して、体制を確認	平成28年度～ 順次実施	関係機関と共同して体制を確認する	平成28年度～ 順次実施	関係機関と共同し、体制の確認を行っていく。	平成28年度～ 順次実施
関係機関と連携する場を設け、想定最大規模の洪水を想定した排水計画を作成	⑨⑩	18市町村 十勝総合振興局 市広開発建設部	今年度、代表箇所における排水計画を作成予定	平成30年度～ 順次実施					関係機関と共同して、排水計画を作成	平成30年度～ 順次実施	関係機関と共同して排水計画を作成する	平成30年度～ 順次実施	関係機関と共同し、排水計画を作成する	平成30年度～ 順次実施
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の耐水化を促進	②	6町												
水門、護門等の施設運用について、出水時の確実な対応ができるよう体制の強化を推進	⑩	市広開発建設部	引き続き、施設の点検整備体制の確立を実施 浸水被害のあった施設における内外水位(リアルタイム)状況を共有できるシステム構築	平成28年度～										
●拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項														
浸水想定区域内の拠点施設(病院、要配慮者利用施設、警察署、消防団、等)に対する防災の事前説明、適切な情報提供	⑩⑪⑫	17市町村 市広開発建設部	引き続き、各施設等へのリスク説明、情報提供を実施	平成28年度～					ハザードマップ作成の後、情報提供	平成28年度～ 順次実施	拠点施設を適宜の上伝する	平成28年度～ 順次実施	拠点施設を選定し、伝達を実施	平成28年度～ 順次実施

取組(業)のフォローアップ

項目、事項、内容	課題の対応	取組機関	新井町		清水町		芽室町		中札内村		泡田町		幕別町		
			業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	
<p>3. 人知覚能力を高めるため、主体的な避難行動を促す緊急時の防災情報を拡充する取組</p>															
<p>■ 情報伝達、避難計画年に関する事項</p>															
洪水時における河川管理者からの情報提供(ホトラインの構築)	⑧⑩⑪	十勝総合振興局 帯広開発建設部													
越水等の切迫度が首長や住民等に伝わる洪水予報伝文への改良を行う	⑩	釧路地方気象台 帯広開発建設部													
危機管理型水位計による危険箇所における水位情報の提供	⑧⑩⑪⑫	十勝総合振興局 帯広開発建設部													
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、多様な手法を用いたリアルタイム情報の提供	⑫	7市町村 帯広開発建設部 NHK			Facebookを活用した情報提供(平成30年開始予定)			めぐる安心メールやエリアメール、Facebookを活用した情報提供を行う	引き続き実施	防犯等のメール登録数を増やす取組として、5月の広報誌に掲載	引き続き実施			前年度に引き続き、登録者の防災情報メールを活用した情報提供を実施していく。 *実効性のある、新たな情報伝達手段の導入を検討中。	
洪水予報、避難勧告等をプッシュ型で情報発信	⑫	17市町村 帯広開発建設部 NHK			引き続き実施			めぐる安心メールやエリアメール、エリアメールを通じて情報配信するとともに、市の広報誌を通じて住民向けに登録を促す	引き続き実施	平成28年度～ 継続実施	自主防災組織の研修会等で、防災連絡アプリの導入の呼びかけ	平成28年度～			避難情報を防災情報メールを活用して伝達
市町村水防計画及び避難勧告等の前倒し伝達計画の作成	⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 消防			平成28年度～ 継続実施	清水町水防計画を改訂中。		タイムラインを整備済み	平成28年度～ 継続実施	平成28年度～ 継続実施	水防計画を全部改正し、地域防災計画(伝達計画(水害編)の作成及び避難勧告等の伝達計画を定直し、地域防災計画を改正(6月未予定) *避難所運営マニュアル作成中	平成28年度～ 継続実施			平成30年度以降、避難勧告等の前倒し伝達計画(水害編)の作成及び避難勧告等の伝達計画の早期見直しの実施を検討中。
気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善	⑫	釧路地方気象台 電源開発(株)													
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し	②③	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部			一時避難所の追加を行った。	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づき、緊急避難場所の見直しを実施。(平成29年度)		旭川協議会開催し、状況に応じて避難場所の見直しを実施していく	平成28年度～ 継続実施	平成28年度～ 継続実施	民間団体等が管理する施設を新たに10箇所を確保して「指定避難所」(未予定)	平成28年度～ 平成30年度			平成29年12月に作った、ハードウェアの更新と同時に避難場所の見直し作業も実施した。
避難行動要配慮者利用施設に対する避難確保計画の作成、避難場所等の確保、訓練等に関する取組を促進	②	17市町村、十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察			必要に応じて支援を実施			芽室町地域防災計画にて整備している。また、訓練時等の機会を通じて改善を促していく	平成28年度～ 継続実施	平成28年度～ 継続実施	30施設中19の施設で作成済み。	平成28年度～ 継続実施			平成30年度以降、避難確保計画の作成や確保等の取組に対して、併せて実施を促す通知文を別途することで、取組の促進を図っていく予定。
円滑な避難・避難後の復旧のため、道路管理者との連携	④⑤⑥⑦	18市町村、十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、消防、電源開発(株)			通行止め情報等の入手のため道路管理者との連携	通行止め情報等の入手のため道路管理者との連携		今後更なる円滑な情報入手できるように、平時から道路管理者との連携を図る	平成28年度～ 継続実施	平成28年度～ 継続実施	平成28年度～ 継続実施	平成28年度～ 継続実施			前年度に引き続き、通行止め情報の入手等の為、道路管理者との連携を図っていく。
<p>4. 長期間かつ大規模な水害に備え、主体的な避難行動を促す取組(関係団体の取組)</p>															
<p>■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項</p>															
(新たな重要水防箇所指定基準に基づき)毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防ゾーンの高い箇所共同点検を実施	⑨	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部			共同点検に参加する			関係機関と連携しながら、整備状況等を改めて重要水防箇所の確認を行うとともに、共同点検を行うよう検討していく	引き続き 定期的実施		引き続き 定期的実施	水防連絡協議会下流地帯合同会合 参加	引き続き 定期的実施		関係機関との共同点検に参加していく
迅速な水防活動を支援するため、災害事例等の検証を行い、計画的な水防資機材の充実を図るとともに、各機関で情報を共有し貸し出し等が円滑に実施できるよう検討を実施	⑩	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防			必要があれば、水防資機材の充実を図る	平成28年度～ 継続実施		水防資機材の充実を図る	平成28年度～ 継続実施	平成28年度～ 継続実施	検討中	平成28年度～ 継続実施			既存の備えている水防資機材に加えて、新たな資機材の購入を検討中。
関係機関が連携した水防訓練を継続実施	⑩	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防			水防訓練に参加する	引き続き 定期的実施		水害想定訓練を継続実施していく	引き続き 定期的実施		引き続き 定期的実施	検討中	引き続き 定期的実施		関係機関による水防訓練の実施を検討中。
水防団、ダム、拠点施設等への連絡体制の再確認と情報伝達訓練の実施	⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	19市町村、十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防、NHK JRC、北海道電力(株)、電源開発(株)			伝達訓練を実施	平成28年度～ 継続実施		関係機関との連絡体制を確認できるように訓練について検討していく	平成28年度～ 継続実施		札幌ダム管理事務所の情報伝達訓練に参加(平成30)	検討中	平成28年度～ 継続実施		連絡体制の構築、それに基づいた関係機関との伝達訓練の実施を検討中。
市町村広報誌やホームページを活用し、水防団員の募集を図るとともに、水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進	⑩	18市町村			水害発生時に出勤する機組別消防団の拡充に向け、広範囲で	平成28年度～ 継続実施		広報誌等の器具募集を通知	平成28年度～ 継続実施	平成28年度～ 継続実施	企業等の訪問や広報誌(9月)に掲載	平成28年度～ 継続実施		広報誌(2018年)に掲載記事を掲載	ホームページや広報誌において、水防団員の募集を行うことを検討中。
自主防災組織の育成	②	18市町村 帯広開発建設部 北海道電力(株)			自主防災組織の設立に向けた財政的支援等を実施	平成28年度～ 継続実施		町内会長等へ自主防災組織の育成を奨励し、活動の支援を実施し(平成30年度)	平成28年度～ 継続実施	町内会へ事前講座及び、自主防災組織の普及大会を実施し、再啓発を図る	平成28年度～ 継続実施	自主防災組織の町内会において組織設立の啓蒙を実施(17市町村内会)	平成28年度～ 継続実施		自主防災組織の組織化拡大に向けた方策の実施を検討中。
被災発生時における、関係機関が発信する被害情報等の共有体制の構築と効果的な救助活動の実施	⑩	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防			特に取組なし	平成30年度～		今後、実施するよう検討予定	平成30年度～	平成30年度～	検討中	平成30年度～			被災情報等の連絡体制の構築と情報共有の実施を検討中。
<p>■ 排水の排水、施設運用に関する取組</p>															
訓練を通じ、排水ポンプ等の災害時の動員要請及び自衛隊災害派遣隊ほか災害出動に係る関係機関との連携方法について確認	⑨	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 消防			特に取組なし	平成28年度～ 継続実施		各種訓練を通じ、確認する	平成28年度～ 継続実施		平成28年度～ 継続実施	検討中	平成28年度～ 継続実施		関係機関と共同して、各体制の整備の実施を検討中。
関係機関と連携する場を設け、想定最大規模の洪水を想定した排水計画を作成	⑨⑩	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部			特に取組なし	平成30年度～ 継続実施		関係機関と共同して、排水計画を作成する	平成30年度～ 継続実施		平成30年度～ 継続実施	検討中	平成30年度～ 継続実施		関係機関と共同して、排水計画の作成を行うことを検討中。
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の排水化を促進	⑩	6町													関係機関の排水化を検討中。
水門、樋門等の施設運用について、出水時の確実な対応ができるよう体制の強化を推進	⑩	帯広開発建設部													
<p>■ 拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項</p>															
浸水想定区域内の拠点施設(病院、要配慮者利用施設、警察庁、大規模工場、学校)に対する防災の事前説明、適切な情報提供	⑩⑪⑫	17市町村 帯広開発建設部			特に取組なし	平成28年度～ 継続実施		町内会への意見交換会や説明会を開催	平成28年度～ 継続実施		平成28年度～ 継続実施	検討中	平成28年度～ 継続実施		拠点施設を重点として、事前説明及び情報提供の実施を検討中。

取組(業)のフォローアップ

項目、事項、内容	課題の対応	取組機関	豊田町		本別町		滝橋町		土上優町		鹿追町		更別村	
			業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	取組内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期
3. 人知れずとも大きな、潜在的な危険と自然災害時の防災情報を共有する取組														
■情報伝達、避難計画等に関する取組														
洪水時における河川管理者からの情報提供(ホトラインの構築)	⑧⑩⑪	十勝総合振興局 帯広開発建設部	-											
越水等の切迫度が富農や住民等に伝わる洪水予報伝文への改良を行う	⑩	釧路地方気象台 帯広開発建設部	-											
危機管理型水位計による危険箇所における水位情報の提供	⑧⑩⑪⑫	十勝総合振興局 帯広開発建設部	-											
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、多様な手法を用いたリアルタイム情報の提供	⑫	7市町村 帯広開発建設部 NHK	-											
洪水予報、避難勧告等をプッシュ型で情報発信	⑫	17市町村 帯広開発建設部 NHK	・プッシュ型の洪水予報等の情報発信を行う	平成29年度～	・避難情報を防災行政無線及び、緊急避難メールにて発信	引き続き実施		引き続き実施	・緊急避難メールを活用した情報提供	引き続き実施	・避難情報を緊急避難メールにて発信	引き続き実施	・避難情報を緊急避難メールにて配信	引き続き実施
市町村水防計画及び避難勧告等の判断・伝達計画の作成	⑤⑧⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 消防	・水防計画の改定及び避難勧告等の判断・伝達計画の作成	平成28年度～ 継続実施	・水防計画について必要な見直しを行う	平成28年度	水防計画の改訂(30年度)	平成28年度～ 継続実施	・水防計画については、必要があれば見直しを実施し、必要に応じて避難勧告等の判断・伝達計画(水防計画)の作成	平成30年度～ 継続実施	・水防計画が古く、更新されていない為、見直し等を検討	平成30年度～ 継続実施	・平成29年度に「村地域防災計画を改訂」 今後、必要に応じて村地域防災計画の見直し ・防災マニュアル(職員用)の作成、見直し	平成29年度～ 継続実施
気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善	⑫	釧路地方気象台 電源開発(株)	-											
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し	②④	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所等のマップの作成	平成28年度～ 継続実施	・必要に応じて見直しを検討	平成28年度～ 継続実施	必要に応じて見直しを検討する	平成28年度～ 継続実施	・避難場所・方法の見直しを検討する	平成30年度～ 継続実施	・浸水想定区域図が公表された段階で、作成の必要性を検討する	平成30年度～ 継続実施	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で、作成の必要性を検討する	平成29年度～ 継続実施
避難行動要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	②	17市町村、十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察	・取組を促進する	平成29年度～ 検討	・取組を促進する	平成28年度～ 継続実施	取組を促進する	平成28年度～ 継続実施	・担当課と調整し、要配慮者施設における訓練の実施を検討する	平成30年度～ 継続実施	・取組を促進する	平成30年度～ 継続実施	・担当課と調整し、要配慮者施設における訓練の実施を検討する	平成29年度～ 継続実施
円滑な避難・応急後の復旧のため、道路管理者との連携	⑨⑩⑪⑫	18市町村、十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、消防、電源開発(株)	・通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図る	平成28年度～ 継続実施	・通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図る	平成28年度～ 継続実施	平成28年度～ 継続実施	平成28年度～ 継続実施	・通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図る	平成30年度～ 継続実施	平成30年度～ 継続実施	平成30年度～ 継続実施	平成30年度～ 継続実施	平成29年度～ 継続実施
4. 避難期間かつ避難中における必要に応じた社会経済活動を継続するための、復旧活動の取組														
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組														
〈新たな重要水防箇所特定基準に基づき〉毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防マップの高い箇所への共同点検を実施	⑨	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・共同点検に参加する	引き続き 定期的実施	・共同点検に参加する	引き続き 定期的実施	共同点検に参加する	引き続き 定期的実施	共同点検に参加する	引き続き 定期的実施	共同点検に参加する	引き続き 定期的実施	共同点検に参加する	引き続き 定期的実施
迅速な水防活動を支援するため、災害事例等の検証を行い、計画的な水防資機材の充実を図るとともに、各機関で情報を共有し貸し出し等が円滑に実施できるよう検討を実施	⑩	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防団：河川管理者と協議しなら適切に資機材の充実を図る	引き続き 定期的実施	・引き続き水防資機材の確保・充実を図る	平成28年度～ 継続実施	水防資機材の充実を図る	平成28年度～ 継続実施	水防資機材の充実を図る	平成30年度～ 継続実施	・消防署・消防団(水防団)：河川管理者と協議しなら適切に資機材の充実を図る	平成30年度～ 継続実施	水防資機材の充実を図る	平成28年度～ 継続実施
関係機関が連携した水防訓練を継続実施	⑩	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・関係機関が行う水防訓練に参加する	引き続き 定期的実施	・水防訓練に参加する	引き続き 定期的実施	水防訓練に参加する	引き続き 定期的実施	・水防訓練に参加する	引き続き 定期的実施	・水防訓練に参加する	引き続き 定期的実施	・水防訓練に参加する	引き続き 定期的実施
水防団、ダム、拠点施設等への連絡体制の再確認と情報伝達訓練の実施	⑤⑧⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱	19市町村、十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防、NHK JRC、北海道電力(株)、電源開発(株)	・連絡体制を確立し、毎年情報伝達訓練の確保を行う	平成28年度～ 継続実施	・関係機関と調整し、情報伝達訓練の実施または参加をする	平成28年度～ 継続実施	・連絡体制の情報と整備を行う	平成28年度～ 継続実施	・連絡体制の構築、それに基づき伝達訓練を実施	平成30年度～ 継続実施	・連絡体制の構築と整備を行う	平成30年度～ 継続実施	・連絡体制の構築、それに基づき伝達訓練を実施	平成29年度～ 継続実施
市町村の広報誌やホームページを活用し、水防団員の募集を図るとともに、水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進	⑩	18市町村	・HPや、広報誌等への加入拡充を図る	平成29年度～ 継続実施	・水防組織の拡充に向け募集を行うべく	平成30年度～ 継続実施	・消防団(水防団)への加入拡充に向けた取組を行う	平成28年度～ 継続実施	・条例の規定に基づき、消防団(水防団)への加入について、HPや広報誌等で募集を図る	平成30年度～ 継続実施	・消防団(水防団)への加入について、広報誌を用いて募集を行う	平成30年度～ 継続実施	・消防団(水防団)への加入について、HP等を用いて広報を行う	平成29年度～ 継続実施
自主防災組織の育成	②	18市町村 帯広開発建設部 北海道電力(株)	・自主防災組織の育成・強化を図る	平成28年度～ 継続実施	・引き続き出前講座を実施し、自主防災組織育成に向けた支援を実施する	平成28年度～ 継続実施	・自主防災組織の育成・強化を図る	平成28年度～ 継続実施	・出前講座等により自主防災組織の設立、育成に向けた支援を実施	平成30年度～ 継続実施	・自主防災組織の育成・強化を図る	平成30年度～ 継続実施	・育成のための方策を検討する	平成29年度～ 継続実施
被災発生時における、関係機関が発信する被害情報等の共有体制の構築と効果的な救助活動の実施	⑩	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施	平成30年度～	・被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施	平成30年度～	被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施	平成30年度～	被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施	平成30年度～	被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施	平成30年度～	被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施	平成30年度～
■洪水の排水、施設運用等に関する取組														
訓練を通じ、排水ポンプ等の災対策の出動要請及び自衛隊災害派遣活動に係る関係機関との連携方法について確認	⑨	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 消防	・関係機関との連絡体制の確認	平成28年度～ 継続実施	・関係機関と共同して、体制を確認する	平成28年度～ 継続実施	・関係機関と共同して、体制を確認する	平成28年度～ 継続実施	・関係機関と共同して、体制を確認する	平成30年度～ 継続実施	・関係機関と共同して、体制を確認する	平成30年度～ 継続実施	・関係機関と共同して、体制を確認する	平成29年度～ 継続実施
関係機関と連携する場を設け、想定最大規模の洪水を想定した排水計画を作成	⑨⑫	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部	・関係機関と共同して、排水計画を作成	平成30年度～ 継続実施	・関係機関と共同して、排水計画を検討	平成30年度～ 継続実施	・関係機関と共同して、排水計画を検討	平成30年度～ 継続実施	・関係機関と共同して、排水計画を作成	平成30年度～ 継続実施	・関係機関と共同して、排水計画を作成	平成30年度～ 継続実施	・関係機関と共同して、排水計画を作成	平成30年度～ 継続実施
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の耐水化を促進	②	6町	・施設耐水化を検討	平成29年度～ 継続実施	平成29年度～ 継続実施	平成29年度～ 継続実施	平成29年度～ 継続実施	平成29年度～ 継続実施	平成29年度～ 継続実施	平成29年度～ 継続実施	平成29年度～ 継続実施	平成29年度～ 継続実施	平成29年度～ 継続実施	平成29年度～ 継続実施
水門、樋門等の施設運用について、出水時の確実な対応ができるよう体制の強化を推進	⑩	帯広開発建設部	-											
■拠点施設等の自衛水防の推進に関する取組														
浸水想定区域内の拠点施設(病院、要配慮者利用施設、警察署、大規模工場、学校)に対する防災の事前設備、適切な情報提供	⑩⑫⑬	17市町村 帯広開発建設部	・拠点施設を適定の上、伝達する	平成29年度～ 継続実施	・各施設等へリスク説明、情報提供体制の構築を行う	平成30年度～ 継続実施	・拠点施設を適定の上、伝達する	平成28年度～ 継続実施	・拠点施設を適定の上、伝達する	平成30年度～ 継続実施	・拠点施設を適定の上、伝達する	平成30年度～ 継続実施	・拠点施設を適定の上、必要に応じて情報提供する	平成29年度～ 継続実施

取組(業)のフォローアップ

項目、事項、内容	課題の対応	取組機関	大槻町		広尾町		足寄町		陸奥町		北海道警察釧路方面本部・各警察署		陸上自衛隊第5旅団	
			業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期
<b>3. 人知覚できないため、主体的な避難行動も取組む防災活動の取組を推進する取組</b>														
<b>■ 情報伝達、避難計画等に関する事項</b>														
洪水時における河川管理者からの情報提供(ホトラインの構築)	⑧⑩⑪	十勝総合振興局 帯広開発建設部												
越水等の切迫度が市長や住民等に伝わる洪水予報伝文への改良を行う	⑩	釧路地方気象台 帯広開発建設部												
危機管理型水位計による危険箇所における水位情報の提供	⑧⑩⑪⑫	十勝総合振興局 帯広開発建設部												
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、多様な手法を用いたリアルタイム情報の提供	⑩	7市町村 帯広開発建設部 N-K						防災情報メールを活用した情報提供 実効性のある情報伝達手法の検討						
洪水予報、避難勧告等をプッシュ型で情報発信	⑩	17市町村 帯広開発建設部 N-K		継続実施				防災情報メールを活用した情報の提供						
市町村水防計画及び避難勧告等の前倒し・後倒し計画の作成	⑤⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 消防		平成30年度～	水防計画の見直しを行う。	平成30年度～	水防計画等については、必要があれば見直しを実施していく。	現在の水防計画は10.3月に改定されたものもあるが、必要があれば随時見直しを行う						
気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善	⑩	釧路地方気象台 電源開発(株)												
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し	②⑩	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部		平成30年度～	浸水想定区域図が示された場合に検討する			想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図が公表された段階で見直し						
避難行動要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	②	17市町村、十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察		平成30年度～	取組みを促進する			取組みを促進する						
円滑な避難・応急後の復旧のため、道路管理者との連携	⑩⑪⑫⑬	18市町村、十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、消防、電源開発(株)		継続実施	通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図る			通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図る						
<b>4. 長期間かつ大規模な被害に巻き込まれる社会経済被害を軽減する防災・復旧活動の取組</b>														
<b>■ 水防活動の効率化及び水防体制の変化に関する事項</b>														
〈新たな重要水防箇所(評定基準に基づき)毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防リスクの高い箇所を共同点検を実施	⑩	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部		平成30年度～	共同点検に参加する			共同点検に参加する						
迅速な水防活動を支援するため、災害事例等の検証を行い、計画的な水防資機材の充実を図るとともに、各機関で情報を共有し貸し出し等が円滑に実施できるよう検討を実施	⑩	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防		平成30年度～	水防資機材の充実を図る			水防資機材の充実を図る						
関係機関が連携した水防訓練を継続実施	⑩	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防		平成30年度～	水防訓練に参加する		水防訓練に参加する	水防訓練に参加する						
水防団、ダム、拠点施設等への連絡体制の再確認と情報伝達訓練の実施	⑤⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱	19市町村、十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防、N-K JRC、北海道電力(株)、電源開発(株)		平成30年度～ 継続実施	連絡体制の構築、それに基づき伝達訓練を実施		連絡体制の構築、それに基づき伝達訓練を実施	連絡体制の構築、それに基づき伝達訓練を実施						
市町村の広報誌やホームページを活用し、水防団員の募集を図るとともに、水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進	⑩	18市町村		平成30年度～	広報紙等で加入拡充を図る			拡充を検討する						
自主防災組織の育成	②	18市町村 帯広開発建設部 北海道電力(株)		平成30年度～	育成のための方策を検討する		必要に応じて支援を実施	自主防災組織の設立及び育成のための方策を検討する						
被害発生時における、関係機関が発信する被害情報等の共有体制の構築と効果的な救助活動の実施	⑩	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防		平成30年度～	被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施		被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施	被災情報等の連絡体制の構築と情報共有を実施						
<b>■ 洪水の排水、施設運用等に関する取組</b>														
訓練を通じ、排水ポンプ等の水防への出動要請及び自衛隊災害派遣活動に係る関係機関との連携方法について確認	⑩	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 消防		平成30年度～	関係機関と共同して体制を確認する			関係機関と共同して、体制を確認する						
関係機関と連携する場を設け、想定最大規模の洪水を想定した排水計画を作成	⑩⑫	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部		平成30年度～	関係機関と共同して排水計画を作成			関係機関と共同して、排水計画を作成						
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の耐水化を促進	⑩	6町						施設耐水化を検討する						
水門、樋門等の施設運用について、出水時の確実な対応ができるよう体制の強化を推進	⑩	帯広開発建設部												
<b>■ 拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項</b>														
浸水想定区域内の拠点施設(病院、要配慮者利用施設、警察署、大規模工場、学校)に対する防災の取組状況、適切な情報提供	⑩⑫⑬	17市町村 帯広開発建設部						拠点施設を調査のうえ、伝達する						

取組(案)のフォローアップ

項目、事項、内容	課題の対称	取組機関	とから広域消防局		日本放送協会帯広放送局		北海道旅客鉄道株式会社釧路支社		北海道電力株式会社新得水力センター		電源開発株式会社東日本支店 上士幌電力所	
			業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期	業務内容	時期
<b>3. 人命被害をなくするため、主体的な避難行動を促す緊急時の防災情報共有する取組</b>												
<b>3-1 情報伝達、避難計画等に関する事項</b>												
洪水時における河川管理者からの情報提供(ホストラインの構築)	⑧⑩⑪	十勝総合振興局 帯広開発建設部										
洪水等の切迫度が首長や住民等に伝わる洪水予報伝文への改良を行う	⑩	釧路地方気象台 帯広開発建設部										
危機管理型水位計による危険箇所における水位情報の提供	⑧⑩⑪⑫	十勝総合振興局 帯広開発建設部										
住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、多様な手法を用いたリアルタイム情報の提供	⑩	7市町村 帯広開発建設部 NHK			・Lアラートによる情報提供を受けて、ホームページ(地域放送局)およびニュース-防災アプリにて提供							
洪水予報、避難勧告等をプッシュ型で情報発信	⑩	17市町村 帯広開発建設部 NHK			・Lアラートによる情報提供を受けて、ホームページ(地域放送局)およびニュース-防災アプリにて提供							
市町村水防計画及び避難勧告等の判断・伝達計画の作成	⑤⑧⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯	19市町村 十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察 消防	・大規模災害時の活動計画、マニュアル等の作成		平成30年度以降 次実施							
気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善	⑩	釧路地方気象台 電源開発(株)									発信文の表現等の見直しを行い、関係自治体と検討する。	平成29年度～
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた避難場所・方法の見直し	②⑧	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部										
避難行動要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	②	17市町村、十勝総合振興局 釧路地方気象台 帯広開発建設部 警察										
円滑な避難・避難後の復旧のため、道路管理者との連携	②④⑤⑬	18市町村、十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、消防、電源開発(株)	・通行止め情報入手のため道路管理者と連携を図る。		平成30年度以降 次実施						・通行止め情報等の入手のため道路管理者と連携を図る。	平成28年度～ 継続実施
<b>3-2 避難期間中の避難所における避難生活に必要な防災・復旧活動の取組</b>												
<b>3-2-1 水防活動の効率化、及び水防体制の強化に関する事項</b>												
【新たな重要水防箇所特定基準に基づき】毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	⑧	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部										
迅速な水防活動を支援するため、災害準備等の検証を行い、計画的な水防業務の充実を図るとともに、各機関で情報を共有し出し等が円滑に実施できるよう検討を実施	⑩	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防			・過去の災害検証、改善に取り組みるとともに、関係機関が水防業務に携わっている情報を共有する。							
関係機関が連携した水防訓練を継続実施	⑧	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・水防訓練に参加する。		引き続き実施							
水防団、ダム、緊急施設等への連絡体制の再確認と情報伝達訓練の実施	⑥⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱	19市町村、十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防、NHK JR、北海道電力(株)、電源開発(株)	未実施		平成30年度以降 順次実施	情報伝達訓練に参加する。	平成30年度以降 順次実施	情報伝達訓練に参加する。	平成30年度以降 順次実施	国交省主催の「洪水対応演習」に合わせ「情報伝達訓練」を実施する。	平成30年度以降 順次実施	国交省主催の「洪水対応演習」に参加する。 (平成30年5月11日実施)
市町村の広報誌やホームページを活用し、水防団員の募集を図るとともに、水防組織の維持・拡充に向けた取組を推進	⑧	18市町村										
自主防災組織の育成	②	18市町村 帯広開発建設部 北海道電力(株)										
被害発生時における、関係機関が発信する被害情報等の共有体制の構築と効果的な救助活動の実施	⑩	19市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 警察、自衛隊、消防	・被害情報等の連絡・情報共有体制の構築と効果的な救助活動を実施する。		平成30年度～							
<b>3-2-2 河流水の治水、施設運用等に関する取組</b>												
訓練を通じ、排水ポンプ等の災害時の出動要請及び自衛隊と連携した災害出動に係る関係機関との調整方法について確認	⑧	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部 消防	・関係機関との連携・調整について確認する。		引き続き実施							
関係機関と連携する場を設け、想定最大規模の洪水を想定した排水計画を作成	⑧②	18市町村 十勝総合振興局 帯広開発建設部										
想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた災害時拠点施設等の耐水化を促進	⑩	6町										
水門、樋門等の施設運用について、出水時の確実な対応ができるよう体制の強化を推進	⑩	帯広開発建設部										
<b>3-2-3 拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項</b>												
浸水想定区域内の拠点施設(病院、要配慮者利用施設、発電所、大規模工場、学校)に対する入込の事前認識、適切な情報提供	⑧⑩⑪	17市町村 帯広開発建設部										